

※このチェックリスト（関係するチェックリストがある場合はそれらを含む）にある全ての項目を満たす場合は、「鳥取県新型コロナ安心対策

認証店」として認証を受けることができます。（その場合、このチェックリストを認証申請の添付書類として使用することができます）

**【 店 舗 名 】 における
事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策**

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎつつ営業を継続するため、営業の場面に
応じて発生するおそれがある感染リスクへの対応を別紙のとおり実行します。
経営者及び従業員はこの内容を理解し、状況に応じて修正します。

<施設概要>

店名	
所在地	
事業者名	
事業概要	
従業員数	全 人（通常の出勤人数 人）
営業時間	: ~ : 、 : ~ :
主な感染予防対策	

スポーツジム向けチェックリスト

引用「スポーツジムにおける事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例」

1. お客様への感染拡大予防対策

(1) 来店・受付・会計

(お客様の体調確認)

- 発熱（37.5度以上）や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう掲示する。
- 来店時にお客様の体調確認を行い、発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様の来店をお断りする。
(体調確認方法) ※実施しているもの全てにチェック
 - 非接触型体温計を設置し、検温依頼
 - 従業員が個別聞き取り
 - 受付票の提出依頼
 - その他 ()

(入口等での消毒)

- 出入口等に手指の消毒設備を設置し、入店時にお客様に手指消毒を要請する。
(具体的な設置場所) ※実施している場所に1か所以上チェック
 - 出入口
 - ロビー
 - 受付
 - トイレ
 - トレーニングジム
 - スタジオ
 - 休憩室
 - その他 ()

(消毒設備の内容)

- アルコール消毒液（濃度60%～90%のものに限る）（濃度： %）（商品名：)

(施設規模に応じた受入)

- 人と人との距離（フィジカルディスタンス）を確保できるよう、施設規模に応じた受入をする。
※フィジカルディスタンス：1m以上間隔を確保
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - 予約制
 - 連絡先を確認の上、呼出し制により改めての来店を依頼
 - その他 ()

(受付時の密集回避)

- 受付で手続き待ちのお客様同士のフィジカルディスタンスを確保する。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - シール等で立ち位置を示す
 - 注意喚起の案内表示
 - 分散して待機の上、呼出し制
 - 券売機を複数設置
 - その他 ()

(入会手続き時の密集回避)

- 入会手続きにより受付待ちのお客様が密集しないようフィジカルディスタンスを確保する。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - 入会手続き用の場所を設置
 - 受付場所を複数設置
 - その他 ()

(支払)

- 支払い時の感染症対策をする。
(具体的な方法) ※実施するもの全てにチェック
 - キャッシュレス決済の導入
 - 手指消毒をする
 - その他 ()

(下足ロッカーのフィジカルディスタンス)

- 下足ロッカー付近でのフィジカルディスタンスを確保する。
(具体的な方法) ※実施しているものにチェック
 - 一度の利用人数を制限する（使用人数：)
 - 間隔を開けた利用を要請（方法： 掲示 従業員が案内 その他 ())
 - ロッカーの一部を使用禁止
 - その他 ()

(サービス内容の変更・中止) ※中止していない場合はチェック不要

- 感染リスクの高いサービスは内容の変更や中止を行い、周知を行う。
(変更・中止したサービス)
 - 運動強度の高いレッスン
 - 接触を伴うレッスン
 - 浴室の利用
 - その他 ()

(注意喚起)

- 以下のような注意喚起を全て実施する。
 - ・施設内で手洗い・手指消毒 掲示 口頭案内 その他 ()
 - ・施設内で大声での会話は控える 掲示 口頭案内 その他 ()
 - ・咳エチケットを実施する 掲示 口頭案内 その他 ()

(2) ロッカールーム・浴室・休憩室・待合室

(室内の混雑緩和、マスク着用)

- ロッカールーム・浴室・休憩室等を、一度に大人数が利用して密にならないよう要請する。

(具体的な方法)

- 混雑時は利用を控えるよう掲示
- 従業員が混雑時は入室を控えるよう声かけ
- その他 ()

- ロッカールーム・浴室・休憩室等では、マスク着用を要請する。

(具体的な方法)

- 掲示
- 口頭案内
- その他 ()

(ロッカーの利用管理)

- ロッカーの利用状況を管理する。

(具体的な方法)

- ロッカーの鍵はチェックイン時に貸出
- その他 ()

(ロッカールームでのフィジカルディスタンス)

- ロッカールーム内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- ロッカーの一部使用禁止等で、1 m距離をとった配置にする
- 1 m以上間隔を空けて利用するよう掲示
- 人数制限を行う (利用上限人数 人)
- その他 ()

(脱衣所でのフィジカルディスタンス)

- 脱衣所内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- 混雑時は利用を控えるよう掲示 (利用上限人数 人)
- ロッカーや洗面所の一部使用禁止で、1 m以上距離をとった配置にする
- 間隔を空けて利用するよう掲示
- その他 ()

(浴室でのフィジカルディスタンス)

- 浴室内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- 洗い場の一部使用禁止で、1 m以上距離をとった配置にする
- 洗い場間を衝立等で遮蔽
- 1 m以上間隔を空けて利用するよう掲示
- その他 ()

(サウナでのフィジカルディスタンス)

- サウナ内でのフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- 一度に入室する人数を制限し、掲示 (上限人数: _____)
- 1m以上間隔を空けて利用するよう掲示
- その他 (_____)

(休憩室・待合室内でのフィジカルディスタンス)

- 休憩室内でのフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

- ソファ等の配置変更や一部使用禁止により間隔を確保 (お客様同士の距離 1m以上)
- ソファ等の間にアクリル板等を設置して遮蔽
- 混雑時は利用を控えるよう掲示 (利用上限人数 _____ 人)
- 従業員が混雑時は入室を控えるよう声かけ
- その他 (_____)

(施設内での飲食対応)

- 施設内で飲食 (休憩時の水分補給を含む) が可能なエリアでは以下の対応を行う。

(具体的な方法) ※黒丸は必須

- 飲食時は会話を控えるよう要請 (掲示 口頭案内 その他 (_____))
- 椅子等の配置変更や一部使用禁止により対面を避け間隔を確保 (お客様同士の距離 1m以上)
- 椅子等の間にアクリル板等を設置して遮蔽
- 間隔を確保して飲食を行うよう要請 (掲示 口頭案内 その他 (_____))
- その他 (_____)

(長時間利用の自粛)

- お客様に休憩室等での必要以上の長時間の利用は控えるよう呼びかける。

(要請方法 掲示 口頭案内 その他 (_____))

(大声での会話の自粛)

- ロッカールーム・浴室・休憩室等では大声を控えるよう要請する。

(要請方法: 掲示 口頭案内 その他 (_____))

(レッスン待ちの順番待ちの密集回避)

レッソンの順番待ちの際のスタジオ入口でのフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

整理券発行等による予約制 シール等で立ち位置を示す その他 ()

(プール内のフィジカルディスタンス)

プール内でフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

使用人数を制限する(使用上限人数: 人)
 監視スタッフやトレーナーが声掛け
 レーンの一部使用中止等による間隔確保(※お客様同士の距離:最低2m以上)
 その他 ()

(プール内での会話)

プール内では、会話を控えるよう要請する。

(要請方法 掲示 口頭案内 その他 ())

(プールサイドでのフィジカルディスタンス)

プールサイドでのフィジカルディスタンスを確保する。

(具体的な方法)

デッキチェアの配置変更や一部使用禁止により間隔確保(距離最低2m以上)
 デッキチェア間をアクリル板等で遮蔽
 その他 ()

(利用後の手洗い)

ジム・スタジオ・プールで、床に手をついたり、運動用具を使用した後の手洗い・手指消毒を要請する。(要請方法 掲示 口頭案内 その他 ())

(大声での会話の自粛)

ジム・スタジオ・プールでは大声を控えるよう要請する。

(要請方法: 掲示 口頭案内 その他 ())

2. 施設の管理

(換気)

- 定期的に窓を開けるなど、浴場や脱衣所等の十分な換気をする。
※施設全体の空気が入れ替わるよう空気の流れを作る
※ドア・窓の開放の場合、換気の頻度は1時間に3回、5分程度以上の開放が必要

(開店前・清掃時及び定期的に換気する場所及び方法) ※実施しているもの全てにチェック

○ ロビー・フロント

<換気方法>

- ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
- 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
- サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
- CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
- その他 ()

○ ロッカールーム

<換気方法>

- ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
- 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
- サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
- CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
- その他 ()

○ 脱衣所

<換気方法>

- ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
- 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
- サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
- CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
- その他 ()

○ 浴室

<換気方法>

- ドア・窓を開放 (開放箇所、頻度 時間に 回/常時/その他)
- 換気扇を稼動 (換気扇台数 台)
- サーキュレーターを設置して稼動 (サーキュレーター 台)
- CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
- その他 ()

- トレーニングジム
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放（開放箇所、頻度 時間に 回／常時／その他）
 - 換気扇を稼動（換気扇台数 台）
 - サーキュレーターを設置して稼動（サーキュレーター 台）
 - CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
 - その他（ ）
- スタジオ
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放（開放箇所、頻度 時間に 回／常時／その他）
 - 換気扇を稼動（換気扇台数 台）
 - サーキュレーターを設置して稼動（サーキュレーター 台）
 - CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
 - その他（ ）
- プール
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放（開放箇所、頻度 時間に 回／常時／その他）
 - 換気扇を稼動（換気扇台数 台）
 - サーキュレーターを設置して稼動（サーキュレーター 台）
 - CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
 - その他（ ）
- 休憩室・待合室
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放（開放箇所、頻度 時間に 回／常時／その他）
 - 換気扇を稼動（換気扇台数 台）
 - サーキュレーターを設置して稼動（サーキュレーター 台）
 - CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
 - その他（ ）

- その他（ ）
 - <換気方法>
 - ドア・窓を開放（開放箇所、頻度 時間に 回／常時／その他）
 - 換気扇を稼動（換気扇台数 台）
 - サーキュレーターを設置して稼動（サーキュレーター 台）
 - CO2センサーを設置して二酸化炭素濃度1,000ppmを超えないことを確認
 - その他（ ）

- （換気扇がある場合）換気扇を定期的に点検する。
頻度（ ）に（ ）回（ ）

(拭き取り清掃・消毒) ※施設内にあるものは全てチェック

- 多くのお客様が触れる部分は定期的(開店前、営業中、営業後)に拭き取り及び消毒液による消毒をする。

(受付・休憩室等で消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- 受付カウンター() 筆記用具() テーブル、椅子()
 エレベータースイッチ() 廊下・階段の手すり()
 ドアノブ() 自動販売機のボタン() トイレドアノブ()
 トイレ洗浄レバー() その他() ()

(ロッカーで消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- ドアノブ() ロッカー扉(鍵返却の都度) ロッカー鍵(返却の都度)
 洗面所のレバー() ドライヤー() ソファ()
 マッサージ機() 体重計() アメニティ()
 その他() ()

(脱衣所・浴室で消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- ドアノブ() ロッカー扉() ロッカー鍵()
 洗面所のレバー() ドライヤー() ソファ()
 マッサージ機() 体重計() アメニティ()
 その他() ()

(休憩室・待合室で消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- テーブル、椅子() マッサージチェア() ドアノブ()
 自動販売機のボタン() アメニティ()
 その他() ()

(トレーニングジムで消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- トレーニングマシンのレバー・サドル() 運動器具(返却の都度)
 ドアノブ() 筆記用具()
 その他() ()

(スタジオで消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- ドアノブ() 運動用具(バランスボール・マット等)(返却の都度)
 床() 手すり
 その他() ()

(プールで消毒する箇所) ※それぞれの頻度は括弧内に記入

- ドアノブ() 手すり() 洗顔水栓レバー()
 運動用具(ビート板・浮き具等)(返却の都度)
 その他() ()

(具体的な消毒方法)

- アルコール消毒液(濃度60%~90%) 次亜塩素酸ナトリウム(濃度0.05%)
 界面活性剤含有の洗浄剤 次亜塩素酸水(厚生労働省が示す使用上の注意を遵守の上)
 その他()

(アメニティ等の取扱い)

- 共用の物品(綿棒、コットン、ブラシ等)については、いずれかの対策を行う。
 共用の物品は設置しない
 使い捨てや使用者毎に消毒済みの物を使用できるように設置する。

(手洗い後)

- 共通のタオルを禁止し、以下のいずれかの対応を実施する。

(具体的な方法)

- ペーパータオルの設置 個人のタオル等の使用
 定期的な清掃・消毒を行っているハンドドライヤーの使用(清掃・消毒の頻度:)

(ゴミ)

- ゴミ出し後は、必ず手洗いする。
 ペーパータオルのゴミは、以下のいずれかの対応を実施する。

(具体的な方法)

- ゴミはゴミ箱に入れて密閉する。
 蓋がない場合は、お客様使用の都度、ゴミを回収する。

(掲示)

- 以下のような注意喚起等の掲示をする。
 新型コロナウイルス感染予防対策協賛店のステッカー

(点検)

- 消毒状況、密集の状況などを定期的に点検する。

3. 従業員の感染拡大予防対策

(従業員の体調管理)

- 出勤前に体温を計測させ、発熱（37.5度以上）や風邪症状（咳やのどの痛みなど）の症状がある場合は自宅待機とする。

(従業員の体調確認方法)

- 体調不良時の申し出制度
 毎日の体調報告制度
 その他（ ）

(就業制限)

- 感染した従業員や濃厚接触者として判断された従業員の就業を禁止する。

(手指消毒等)

- こまめな手洗い及び手指消毒により手指消毒を徹底しましょう。

(具体的な頻度) ※黒丸は必須事項

- お客様やお客様の物に触れる前後 ● 従業員間で共有する事務用品等を使用する前後
● 施設清掃の前後 ○ その他（ ）

(消毒設備の内容)

- アルコール消毒液（濃度60%～90%のものに限る）
（濃度： %）（商品名： ）

(接客対応)

- 接客や説明対応時及びお客様と一緒に運動する際など、直接対面で接客するときは、お客様の正面に立たないように注意し、可能な範囲でフィジカルディスタンスを確保する。

(清掃)

- 清掃や使用済みタオルの回収後は、必ず手洗いをする。

(大声は控える)

- 従業員はレッスン等の際に大声を控える。

(事務室・休憩室・更衣室)

- 事務室・休憩室・更衣室等の従業員だけが利用する施設において、以下の対応を実施する。

(施設内にある部屋)

- 事務室…A ○ 休憩室…B ○ 更衣室…C
○ その他（ ）…D

(具体的な方法) ※実施している部屋にチェック

- 使用時はマスク着用（○A ○B ○C ○D）
● 一度に使用する人数制限（一度の使用人数 人）（○A ○B ○C ○D）
● 対面での食事や会話を避ける。（○A ○B ○C ○D）
● 常時換気を行う。（換気方法
（○A ○B ○C ○D）
● 共用する物品を定期的に消毒する。（○A ○B ○C ○D）

(動線の分離)

- 取引業者や従業員の出入りとお客様との動線は可能な限り分離する。

(具体的な方法)

- 裏口を使用 ○ 営業開始前後に出入りする ○ その他（ ）

(従業員のトイレ)

- 従業員は従業員用トイレを使用する。
 （トイレは共有の場合）トイレ使用後の手洗いを徹底する。

(ユニフォーム)

- 従業員のユニフォーム等は当該日業務終了後など定期的に洗濯する。
定期的な洗濯の頻度（例：業務終了後に毎回）（ ）

(感染予防対策の共有)

- 事業者が実施する感染予防対策について、従業員に周知し実行する。
（具体的な方法： ）

5. その他施設ごとの感染拡大予防対策

(施設の業態に応じた感染拡大対策)

(自由記載)

【例】

- ・施設内飲食店の対策
- ・売店の対策